

18年8月25日

第23号

素流協 News

平成18年8月25日発行・発行所 岩手県素材流通協同組合 盛岡市菜園1丁目3-6 電話 019 (652) 7227 / FAX 019 (654) 8533

岩手県素材流通協同組合の

合法木材証明への取り組みについて

団体認定制度を導入

岩手県素材流通協同組合は、政府の違法伐採総合対策の実施を受け、合法木材の円滑な供給に向けて団体認定制度の導入に着手しています。合法木材はグリーン購入法（注1）の調達物資として義務付けられたが、合法木材をどのような手順で証明していくかとなると、やはり山元の素材生産がキーポイントとなります。

素流協は、認定制度の導入により全ての組合員に対して事業者認定を行い、適切かつ確実な合法材の証明・供給を図る方針であります。

素流協は、当組合を通して合板工場に納入するすべての素材を合法木材として証明することとして、組合員の協力を得つつ鋭意その準備を進めているところであります。

この案件に対する経過と今後の

予定については、本年5月29日の第三回通常総会において「違法伐採対策に関する自主的行動規範」

および「合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定実施要領」を決定し、公表しました。その後、

審査委員会を設置し、現在は事業者認定の申請を受け付けているところであります。締め切り日の9

月15日より審査委員会において認定審査を行い、9月末に認定番号が記載された認定書を発行する予定であります。当制度の適用を計

画通り進めるため、事業者認定申請書をまだ提出していない会員に

は、事業者認定の申請書の提出を督促していく考えであります。

〔10月からの具体的運用について〕
8月に素流協よりすべての組

（注1）グリーン購入法

正式には、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」といわれる。世界的に地球規模での環境保護が大きな課題となっている中で、このグリーン購入法は、製品やサービスを購入する際、必要性を十分に考慮し、価格や品質、利便性、デザインだけでなく、地球環境保護の観点から、環境への付加ができる限り小さいものを優先的に購入することにより、環境負荷の少ない持続可能な社会を目指す目的で制定され、平成13年より施行された。本年4月のグリーン購入法改正で、違法伐採問題に対処するため政府調達の対象となる木材・木材製品について、合法性が証明されたものを購入することに決めた。

国が木材合法性を調達の判断基準にしたことで、都道府県などの地方自治体をはじめ、独立行政法人等の関連機関および環境経営を進める住宅会社や総合建設業者などの民間企業においても積極的に合法証明材を採用する方向へ進むと考えられる。

会員へ配布した新しい送り状の「認定番号記入欄」に素流協より交付された認定番号を記入し

- て合板工場へ提出する。
- (2) 10月1日から納入する原木の「伐採届け」の写し(受領印のあるもの)または「適合通知書」の写しを素流協にFAXする。
- (3) 会員が、素流協を介さずに製材所等へ納入した丸太を素流協が交付した認定番号を使用して合法材の証明をした場合は、取

扱実績報告書を年度末に提出することとし、証明書の写しを保管しておくこととする。

およびその顧客(丸太の需要者)との間における商取引の成立に至るまでの判断と手続きには多大の困難・苦労が伴うのである。素材生産者にとって望ましいことは、生産した多種・多様な丸太が妥当な価格かつ一定期間内に安全な決済方法で、全ての量について販売できることである。ここで注目すべきことは、近年急激に伸びている国産丸太に対する合板工場・集材工場の需要量の増大がこれらの工場の立地する地域における素材生産者の生産活動を明らかに活発化させていることである。最近、わが国の大型合板工場・集材工場が、それもこれらの工場が従来大半の原料を輸入材に依存していたのにこの数年の間に20〜30%も

ヒロシの独白

**国産丸太の需給構造の変化に
われわれ素材生産者は
どのように対応していくか (その一)**



先月号(第22号)において「今後、国産丸太の需給構造はどう変化するか」について述べたが、そのなかで国産丸太が合板や集材のようなエンジニアード・ウッドの原料としての供給量を急激に伸ばしており、この動向を国産丸太の需給構造の変化と捉えて林業生産活動の活性化のための「上昇気流」になるようにしなければならぬ」と言った。この記述に少し言葉足らずのところがあったので説明を補足してから今月号の「ヒロシの独白」を進めたいと思う。

わが国における林業生産活動、より具体的に素材生産事業に収斂

させて見てみると、その担い手のほとんどが小規模・零細な素材生産事業体であり、生産の対象となる森林は小面積かつ分散的で、対象樹種については針葉樹人工林に限ってもスギ、ヒノキ、アカマツ、カラマツ、トドマツ等と多種・多様である。

このような実態にあって、素材生産者が立木を購入して素材生産を行なう場合、多様な樹種の立木から生産される丸太は、樹種別、品質別、径級・長級別に仕分けすることになり、この多種・多様な丸太の全てを有利かつ安定的に販売・供給できる顧客(木材加工業者)

を確保することは極めて難しいことである。問題は、今後素材生産者が生産した丸太の販売先(顧客)開拓の方向をどこに定めるのか、ということである。

素材の販売先が一つである必要はなく複数が多様な木材製品を製造する企業であっていいのであるが、いずれにしても丸太の販売相手は、国産材製材工場か、原木市場か、パルプ・チップ工場か、合板・集材工場等のエンジニアード・ウッド製造工場か、さらにはこれらの幾つかをターゲットにした複合型かということになり、この顧客開拓の方向を決定すること

と、大型合板工場や集材工場

の立地する地域とその他の地域に差異があるものの、まさに国産丸太の需給構造の変化の気配を読み取ることができるのである。今後、もこれらのエンジン・アード・ウッド製造における国産丸太使用のシェアが伸びるとともに、そのことによつてわが国の木材工業全体における原木の需給構造が大きく変化する予感(確信)がするのである。私は、これらの予想される変化の流れを「上昇気流」と言つたのである。

さて、それではこの「上昇気流」をしっかりと掴み、それに乗つてわが国の林業再生に挑戦していくためには、われわれ素材生産サイドはどのような行動していくべきかということが重要な課題となる。

まず、わが国における素材生産事業がこれまで長期間低調であつた理由を抽出して分析し、素材生産事業の低迷の原因を解決しないしは排除していくことから始めなければならぬであろう。

わが国における素材生産事業の低迷の原因は、長期間続いた経済

不況による木材需要の減少と材価の低迷、外材の圧倒的なシェアの及ぼす圧力の影響が根底にあるが、現場に立脚して具体的に述べると、

(1) 素材価格の下落と素材生産・運搬にかかるコストとの比較において、積極的な事業遂行を図る状況になく、事業実行意欲を喪失している。

(2) 立木価格の著しい下落により、森林所有者が立木を手放さない。木材製品の価格の下落が素材価格を押し下げ、下落した素材価格が立木価格をさらに下げる圧力となる。立木価格は、川下から順次川上の方向に価格決定をしつつ遡上して、各段階での負の影響を吸収した最終段階での価格となる。この一連の価格形成において外材価格の影響が大きく作用してくる。

(3) 木材加工製品に対する需要の減退は、国内素材生産量を縮減させるが、このような状況にあるときには、外材の優位性が一層強く影響を与える。外材の優位性とは、価格ばかりではなく、量の安定的供給(ロットの大き

さ、安定性)や品質の安定性を含めたものである。

(4) わが国における素材生産事業体の構造的な脆弱性が社会的・経済的变化に即応できない。変化への対応力が弱いということである。これには生産性の低さも強く関係する。この構造的な脆弱性とは、具体的には、資金力(生産性の向上に寄与する設備力、立木購入資金・運転資金調達力、信用力)の弱さ、労働力の確保(高齢化、新規労働力の欠如)の困難性、事業量の継続的な確保の困難性などという。

(5) 素材生産者と需要者(木材加工業)との間のミスマッチが往々にして存在する。例えば、①丸太は、樹種別、品質別、規格別等から見て多様な製品で、このような特性をもつ丸太に対する需要と供給の調整が円滑に行なわれないことが多いこと②素材生産者と需要者間の情報の円滑化が遅れている。過去からの付き合いや特定の限られた関係での情報流通システムはあるが、それが機能しなくなりつつある

のに、それにしがみ付いている面があること③個々の素材生産者のロットの問題であるが、素材を大量かつ継続的に消費する大型需要者に対応できない場合が多いこと、等が挙げられる。

これまで述べてきたわが国の長期間続いてきた林業生産活動(素材生産事業等)の低迷の原因が、その後の日本経済の持続的な好調さ、世界全体の森林資源の減少、世界的な環境問題における森林の位置づけとその役割についての関心の高まり、世界の中の木材貿易の動向とそれに伴う日本の木材輸入における量的・質的变化等、わが国をめぐる社会的・経済的変動によつてかなり変化してきている。そこで、次号において、これまで云われてきた林業生産活動の低迷の原因と最近のわが国をめぐる社会的・経済的変動との関係を見るとともに、その両者の関係を前提とした中で、われわれ素材生産者が国産丸太の需給構造の変化にどのように対応したらいいかを述べることにする。

落穂拾い

▽相当以前から、「アイデンティティ」という言葉を本の中で見たたり人との会話で聞いたりしてきたが、これは英語の「identity」であり、英和辞典を引くと「本人であること、身元、自我同一性、独自性、個性」などの訳語が並んでいる。人との会話の中で「結局、それはアイデンティティの問題に帰するね」とか「君にはアイデンティティがないね」とか言われるが、私の肌にもう一つピンとこない感で、この言葉の意味が充分に理解できなかったのである。ところが、最近、石

川好の著書「ガーデン・ボーイ」の中のある会話でこの言葉の意味を感覚的に理解したのである。アメリカのカルフオルニア州の農場で働く日本人の「村田さん」という人が著者(石川好)に対して話した言葉である。少し長くなるが、引用させていたと、「アイデンティティとは何か。何ものにも同化しないという覚悟のことなんです。…、理解されるとは、支配された、ということなんです。日本人は理解されていない。このことを悲しむ必要はありませんよ。理解されなかつたがゆえに支配されなかつたんです。そしてこれが大事なことです、理

解されたたん、相手にされなくなりますよ。アイデンティティとは、自分の中にある理解されるはずのないもの、のことです。」
筆者はこの本の中に登場する「村田さん」がものすごく好きになった。ついでに、この本の中に出てくる村田さんの逸話を紹介してみよう。「村田さん」がドランク・ドライバー(飲酒運転)で、裁判所で判決を受けるとき裁判官とのやり取りがすばらしいのである。(すばらしい!と言ってしまうときわめて問題なのであるが、心の中だけで「すばらしい」と眩くだけならば許される?)裁判官が

村田さんに対し、「これから決して酒を飲まないことなす」と言ッヤ、
"No sir. I like beer. I never stop drinking. Drinking is all my life. I cannot think my life without drinking. I love beer. I love drinking."
拙い訳語を記すと、「いいえ、裁判官殿。私はビールが好きなんです。酒を決して止めませんよ。飲むことが私の人生そのものなのです。酒なしの人生なんて考えることができません。私は、ビールをこよなく愛し、呑むことを愛しています」とでもなるうか。

平成18年 7月分の販売実績
(組合員からの出荷分)

ホクヨープライウッド(株)、北日本プライウッド(株)の2社に出荷した組合員からの合板用丸太の7月の販売実績は下記の通りです。

ホクヨー6,607m³、北日本3,161m³となり2社合計で9,768m³と1万m³をわずかに割ったものの、4~7月の累計は対昨年比で153%と順調な出荷が続いております。

項目 樹種	長級 m	径級 cm	販売先		計 m ³	累計 m ³	出荷割合	
			ホクヨープライウッド(株)	北日本プライウッド(株)			樹種毎	樹種毎
			m ³	m ³			%	%
スギ	2.0	14上	1,948	1,531	3,379	13,992		56.8
	4.0	14上	1,792	1,092	2,885	10,659		43.2
	計		3,640	2,624	6,264	24,651	61.3	100.0
カラマツ	2.0	14上	1,495	421	1,915	8,934		99.2
	4.0	14上	9	1	10	76		0.8
	計		1,503	422	1,925	9,010	22.4	100.0
アカマツ	2.0	14上	1,195	108	1,304	5,707		86.7
	4.0	14上	268	7	276	875		13.3
	計		1,464	116	1,579	6,582	16.4	100.0
合計			6,607	3,161	9,768	40,243	100.0	100.0

平成18年 7月分の販売実績
(国有林材システム販売からの出荷分)

ホクヨープライウッド(株)、北日本プライウッド(株)の2社に出荷したシステム販売による合板用丸太の7月の販売実績は下記の通りです。

岩手県および青森県の森林管理署・支署から、ホクヨーへは702m³、北日本へは240m³となり、合わせて942m³となりました。昨年の7月は2,236m³でしたので、今年は管理署からの出材がやや遅れている感があります。

項目 樹種	長級 m	径級 cm	販売先		計 m ³	累計 m ³	出荷割合
			ホクヨープライウッド(株)	北日本プライウッド(株)			樹種毎
			m ³	m ³			%
スギ	2.0	14上	654	228	882	3,330	79.9
カラマツ	2.0	14上	48	12	60	878	16.3
アカマツ	2.0	14上			0	162	3.9
合計			702	240	942	4,170	100.0